

国立音楽大学 音楽研究所
20 世紀前半アメリカ音楽 研究部門
(通称 ガーシュイン・プロジェクト)
2016 年度 活動概要

【趣旨】

ジャズの台頭、録音・放送メディアや映画音楽の発達、消費的音楽文化の興隆といった条件がそろって出てくる 20 世紀前半のアメリカは、音楽文化史上の重要な転換点であり、今日の音楽文化の基礎を作った、とても重要な存在です。しかしこの時代のアメリカ音楽は、必ずしも十分に調査・研究が行われているとは言えません。

本研究部門は、この時代の音楽文化を「現代のはじまり」として尊重し、その実態を把握するために文献・録音・映像等の資料や楽譜の調査を行うとともに、その成果を生かした演奏実践を行うことを目的とします。

昨年度は、ガーシュインの名曲《ラプソディー・イン・ブルー》の初演時の姿を再現する試みを核として研究を行い、「ガーシュインとその時代」および「ガーシュインを歌って踊ろう」の公開講座を実施するとともに、その集大成として 3 月 11 日にレクチャー&コンサート「《ラプソディー・イン・ブルー》の真実」を開催しました。

開設 2 年目となる 2016 年度は、関心領域をさらに広げ、「シンフォニック・ジャズ」と呼ばれる音楽を中心にすえながら、ミュージカルや映画音楽など、20 世紀アメリカ文化における音楽の諸相を研究していきます。

【主な活動内容】

- ・研究成果は、おもに論文や書籍などの形で公表します。
- ・研究成果の公表の一環として、公開講座や演奏会を行います。
- ・2016 年度公開講座は、次の 2 つのシリーズで行います。詳細は別紙をご参照下さい。

講座 1 「20 世紀アメリカの音楽と文化」

開催日時： 年間 14 回。原則として隔週金曜の 6 時～7 時半。具体的な予定は別紙参照。

会場： 国立音楽大学 6 号館 (AV センター) 113 スタジオ。

参加資格： 音楽大学卒業または同程度の理解力を有するもの。なお、国立音楽大学大学院の学生には「プロジェクト」という科目の授業として扱われます (通年 2 単位)。

受講料：国立音楽大学の大学院生は無料、それ以外の方は年間 4 万円。

定員： 最大 30 名程度まで (先着順)。

講座 2 「アメリカ音楽を歌って踊ろう」

開催日時： 年間 14 回。原則として隔週金曜の 6 時～7 時半。具体的な予定は別紙参照。

会場： 国立音楽大学 6 号館 (教育センター) 201 教室。

参加資格： 音楽大学の学生またはそれと同等の読譜力、歌唱力を有するもの。

必要に応じてオーディションをする場合があります。

本学大学院生の参加は可能ですが、この講座は大学院の授業としては扱いません。

この講座の受講生は「講座 1」を無料で受講することができます。

受講料： 国立音楽大学の学生・大学院生は無料 (実費のみ)、それ以外の方は年間 4 万円。

定員： 最大 15 名程度まで (希望者多数の場合、初回に選抜を行います)。

【スタッフ】

主任所員	吉成 順	(国立音楽大学教授)
所員	栗山和樹	(国立音楽大学准教授)
	林 千代	(国立音楽大学教授)
	本島阿佐子	(国立音楽大学准教授)
	山内のり子	(国立音楽大学講師)
	客員所員	池原 舞
	ダイアナ・ボール・石山	(洗足学園音楽大学准教授)
	谷口昭弘	(フェリス女学院大学准教授)
研究員	中村有里	(国立音楽大学大学院修士課程修了)
	松岡由起	(慶應義塾大学大学院博士課程在学)
事務助手	大山未方	(国立音楽大学大学院修士課程修了)

講座1 「20世紀アメリカの音楽と文化」の予定
(期日・内容・担当者は変更になる場合があります。)

【前期】		(担当者)
4月22日	ガイドダンス:その後のガーシュイン	(吉成)
5月6日	アメリカ・クラシック音楽における「アメリカらしさ」の探求	(谷口)
5月20日	初期ミッキー映画に使われた音楽	(吉成)
6月3日	ハリウッド映画音楽を築いた作曲家たち	(栗山)
6月17日	ストラヴィンスキーとジャズ	(池原)
7月1日	サクソフォンの歴史とアメリカ音楽	(宮崎真一:フリー奏者、楽器史研究者)
7月15日	生演奏で知るジャズの歴史	(佐山雅弘:ピアニスト、作曲家) (Pf:佐山雅弘、Dr:大坂昌彦、Bs:井上陽介)

【後期】		
9月16日	「クレイジー・キャット」の世界	(吉成)
9月30日	ジャズの歴史 ミニコンサート	(中川喜弘:トランペット奏者) (Tp:中川喜弘、Tb:中川英二郎ほか)
10月14日	アンタイルの《ジャズ・シンフォニー》	(池原)
10月28日	20世紀前半アメリカ映画音楽の作品分析	(栗山)
11月18日	ジョン・オールデン・カーペンターと20世紀のアメリカ音楽	(谷口)
12月2日	バーンスタインの舞台作品の魅力	(松岡)
12月16日	ファーディ・グローフェ:アレンジャーとして、作曲家として	(谷口)

講座のまとめとして、1月に演奏会を行います

音楽研究所ガーシュイン部門演奏会 ～シンフォニック・ジャズのひろがり～

日時(予定) 2017年1月 講堂大ホール

曲目(予定) J.A.カーペンター クレイジー・キャット(スライド、ナレーション付き)

L.バーンスタイン ウェスト・サイド・ストーリーより

F.グローフェ ミシシッピー組曲 ほか

演奏 クニタチ・フィルハーモニック、本島阿佐子(歌)、久保田真澄(歌)

講座2 「アメリカ音楽を歌って踊ろう」の予定

原則として隔週金曜 18:00～19:30。

20世紀アメリカの音楽文化に欠かすことのできない、歌とダンスのための連続型ワークショップです。

希望者多数の場合は初回に選抜を行います。

レッスンの曲目は随時お知らせします。

担当

ダンス:ダイアナ・ボール・石山、歌:本島阿佐子、ピアノ:山内のり子、発音:林千代

【前期】

- (1)4月15日[ガイドダンス]、(2)4月29日、(3)5月13日、(4)5月27日、
(5)6月10日、(6)6月24日、(7)7月8日

【後期】

- (1)9月9日、(2)9月23日、(3)10月7日、(4)10月21日、
(5)11月11日、(6)11月25日、(7)12月9日

出願先

(本学学生の場合)

受講希望の講座番号、氏名、(本学学生は学籍番号も)を明記して kcm.kenkyujo@gmail.com にメールでお知らせください。

(外部の方の場合)

受講希望の講座番号、氏名、連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)、所属、年齢、最終学歴を明記して kcm.kenkyujo@gmail.com にメールでお知らせください。

出願書類の請求方法(下記の1, 2のどちらでも可能です)

1. 送料120円の切手を同封の上、郵便で音楽研究所事務室に請求する。
2. 国立音楽大学のホームページより、書類をダウンロードする。
<http://www.kunitachi.ac.jp/>

※出願書類は講座初回に提出してください。

外部受講生ガイダンス

- <講座1> 日時:2016年4月22日(金)午後6時(受付:午後5時50分より)
場所:国立音楽大学6号館(AVセンター)113スタジオ
- <講座2> 日時:2016年4月15日(金)午後6時(受付:午後5時50分より)
場所:国立音楽大学6号館(教育センター)201教室

研究会の趣旨ならびに諸注意を説明します。万が一出席できない場合は、事前にお知らせください。

受講決定への通知と必要書類の送付

ガイダンス後、メールまたは郵便で通知します。

受講料の支払い手続

2016年4月25日(月)から5月10日(火)の受講料納入期間に、指定の銀行に受講料を振り込んでください。なお、納入期間内に入金されなかった場合には、履修生としての資格を放棄したものとします。

受講料

受講料 40,000円(年額)

受講証明書の発行について

出席回数が各講座全体の3分の2(今年度の場合は10回)以上の受講者には、年度末に受講証明書を発行します。

問い合わせ先

国立音楽大学学長事務室 TEL:042-535-9511
E-mail: kcm.kenkyujo@gmail.com